

## 海は自然の大きな動物園

東京女子高等  
師範學校教授

久 米 又 三

三八

子供の折に鰍形蟲を飼ふ事に熱中した事があつた。ブリキで作つた箱の壁に細い穴を開けてもらつて、其の底に松の樹の甘皮を敷いて置く。甘皮が乾燥するのを妨ぐために時折水を吹きかけてやつた。蟲は自分達仲間て近くの山へ探りに行つた事もあるし、時に種類が不足した折には近所の店を買つた事もあつた様に思ふが、そんな種類の店で鰍形蟲なごを賣つて居たものか今は思ひ出せない。然し集めて來た鰍形蟲には確か種類が三つあつた様である。形が小さくて幾分丸味のあつたのは、からだに似ず力が強いので、友達仲間て此れを太閤様と呼んで居て大いに敬愛したものであつた。角も長く太閤様より大きくて、體が扁平な種類があつたが、此れは案外力が弱くて役に立たないので平家と呼んで居た、外に源氏云つたのが居た筈だが、さ

んな種類のものであつたかはつきりしない、鰍形蟲の飼養法は誰かに習つたものに違ひないが、仲々巧みに飼養が續けられたので、随分長い間吾々仲間の中心になつてくれた。中心どころではない、其の頃の思ひ出は唯だ鰍形蟲に盡きて居る云へる位である。こんな子供の折の話を、先日亡くなつた小兒科の青木博士に話した所が、青木博士も小さい時に一種の蜘蛛を飼はれたさうであつて、其の後二三日して其の蜘蛛を飼ふ小さい木箱をもつて來られて打ち興ぜられた事があつた。

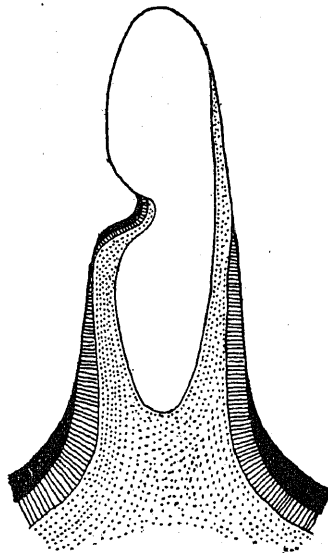
鰍形蟲の飼養に較べるに少し雑薄な事になるが、然し同じ位の喜を與へてくれたものに夏の海があつた。海岸の砂の上に寝轉びながら砂の中に棲むダンゴ蟲を搜すのである。靜かに手で砂を掘つて行くに、丸くなつたダンゴ蟲が

轉り出て来る。此れを砂をたゞいてならした所に置いて監視して居るこ、或る時間が経つゝ蟲は必ずむくゝこ起きて、繊細に足を動かして逃げ出すのである。此れがなんだか馬鹿に巧妙に仕掛けられた器械の様な氣がして居た。ただ其の事が面白いために、毎日苦勞をものこもせず、海邊に行つては砂を掘つて此の蟲を集めたのであつた。ダンゴ蟲以外のものでは、海岸に時折ひこでや海膽の死骸を見なければ、一體こんな動物がどこにどの様にして棲んで居るものか見當がつかなかつたので、海こ云ふものは容易に吾々の近づける所でない、どこか恐ろしいものである様に就ての知識が足りなかつたゝめであるし、又海に就て良い暗示を與へてくれる人が周圍に居なかつたゝめであつた様に思へる。

海が色々な興味ある動物の棲息所である事は誰もが知つて居る事である。然したゞ漫然こ海岸にいつて漫然こ動物を搜したのでは、或は私が子供の折に感じた様な淋しさを味はないこも限らない。此れは大抵ここでも同じここであ

るが、其の海岸の廣いか狭いかの差はあつても、海岸の岩や砂や泥は決して無秩序に分布されて居ない。一つの陸地の突起の先端には岩礁がある。其の岩礁の外側には岩がく

一つの入江の模型圖 入口の兩側と入江の中にある突出部に岩礁(黒)がある、其の外側に轉石(斜線)、其の外側に砂地(白)で入江の奥が泥地(白)になつて居る。



づれて出來た石や礫の層がある。其の又外側には砂地がある。此れが灣こか入江になるこ灣こか入江の口から奥に向つて同じ様な分布が見られる。即ち入口附近に岩礁があり岩礁に續いて轉石があり、轉石の奥には砂地がある。入江

の奥には川が流れこんで、其の附近一帯が泥地になつて居る。此の様な地質状態を専門的に底質と呼んで居るが、此の底質の辨別が先づ動物の棲息所をつきさめる第一の手續になる。頂度百貨店へ行つて先づ求める品が何階にあるかを知る必要があるが如きである。前に云つたダンゴ蟲は陸地の砂に棲むが、海膽やひこでは海水にしたつた岩か轉石か底の砂地に棲むものである。

此の心得を得て海岸に立つて海岸の地形を眺めて見ると、先づ第一に足を向けるべき方向が決められる。大抵の興味深い動物は、例へばイソギンチャクや海膽の類は、岩蔭を利用して棲んで居る。波の靜かな折に岩の上に立つて、岩の割目を捜して見るに、美しい色をしたイソギンチャクが靜かに觸手を八方に伸ばして居るのが見當るだらうし、栗の様なまげくした海膽が頑固さうに岩の穴にしがみついて居るのを見ることが出来る。

然しもつゝ有效に是等動物の棲息所を發見するには、潮の満干を利用すべきである。潮が干て、海面がすつと下つた折には、吃驚する程海岸の地形が變つて来る。そんな時

には平常岩蔭にかくれて見えなかつたものや、僅かに海水を通して眺めて居たものが、海の表面に露出されたり、少なくとも表面近くに現れて来る。潮が引くミイソギンチャクは觸手を引つこめて丸くなつて居る。棒か何かでつつかみ水を出して尙ほ小さくならうとする。こんな折でないミイソギンチャクの様なものの中々採集が出来ない。此れを取るには、先づ周圍の岩から破壊してかゝらねばならぬ。イソギンチャクの底に傷のつかない様に岩の小片と共にこれら先づ成功である。これを持つて歸つて海水をみたした水槽に入れてやれば、イソギンチャクは機嫌良く觸手を伸ばして、からだを膨らして来る。此れを長く飼養するのは割合に樂であるが、海水が常に循環する様な設備がなければ、先づ海水を一ヶ月もため置いた古いものを用意して置く。此の古い海水は中の種々な有機物が分解し沈澱されて居るために、新しく動物を入れても腐敗にかたむく憂が少ない。こんな海水であれば海水の補給のつかない所でもイソギンチャクは長らく生きて吾々を興がらせるものである。餌は餘り必要ではないが、魚さか蝦蟹の肉を少

量口にあてがつてやれば良い。一般に海の動物は、海水が循環する設備がなければ飼養が困難なもので、先づ長らく飼養するこゝは断念しなければならぬが、しばらく生時の状態を見るためには、例へば海膽の様なものは、海水を切つて海藻に包んで持つて歸るのが良い。

潮が干いた折に、岩蔭に立寄る機會があつたら、其の岩の外側にある轉石に眼を轉じて、裸足で海に入つて、石を起して見る。其の石の下には、たゞの貝殻として見て居た貝の類がはいつて居たり、別の種類の海膽やヒトデやクモヒトデを發見する。小さい動物では、教科書の圖だけで見たこゝのある様なものが、石の表の小さい穴等に入つて居たりする。又此の附近に海藻があつたら、海藻の根を分けたり表面を良く注意して見る。岩の下が覗けるならのぞいて見る。海綿があつたりホヤが着いて居たり、蟹がはつて居たりする。此んな美しい物があらうかと思へる程のウミウシの種類が、涼しさうな鱒を花の様にひろげてしまつて居るのを見るであらう。

入江の奥の泥地では、又泥地特有な動物が居るものであ

る。潮の満ちた時には泥の中からからだを出して居るが、干いた折にはすつかり縮んで泥の中に入つて居るから、唯泥の表を見たゞけでは動物の所在が判らないものが多い。種類に依つては特有な泥の盛り上りがあつて少し慣れると其の下に居る動物の種類判別がつく。先づ斯の様な泥地が一番適當なのは鍬が何かを持つていつて、大體の見當をつけて泥を掘るのである。然し泥地に棲むものは多くは體の柔いちぎれ易いのが多いから充分叮嚀にしなければならぬ、此の泥掘りでウミシヤボテンでも掘り當てたら素晴らしい。掘り出した時には縮んで居て泥にまみれた汚たないものだが、持つて歸つて水槽にでも入れて、蓋をして暗くしてやるさ、やがて膨れて來て、始め五寸位のものが一尺四五寸位にまでなる。そして表面から澤山のポリブを出した所は實に美しい。尙美しいこゝは、暗室でこれをつゝいて見るさ、からだ全體からぼつと光を出すこゝである。

尙ほ此の外に、海の動物採集としては、舟の上から覗きを使用して海底のものを熊手で採る方法や、潜水夫を使用して尙ほ深い所をさぐる方法や、底曳き云つて深海のもの

のを探る方法があるが、専門的になるからはぶきたい。海岸に簡単な顕微鏡でも携帯された場合は、昆虫網の様なものに紐をつけて舟で海の表面近くを引いて見る面白い。引いたあみで網の底を海水で洗つて見るさままぐなブランクトンが入つて居る。夜光蟲等もこんな方法で採集したら、多い時には一萬二萬位のものは容易に探るこゝが出来らる。

此の様にして海岸に立つて、海岸の地形の辨別が一通り出来たら、海の動物の棲息所は、既に百貨店の案内圖の様に眼の前に展開されたと同じ事である。動物園や水族館は動物の世界のほんまに僅かの一断面に過ぎない。手を出して親しく觸れる事も出来ない水族館の一室で、動物を見るより、百貨店の様に繰り広げられた自然の展開を、僅かな努力ミ知識をもつて親しく眺め親しく觸れる事が出来るなら幾ら楽しいか知れない。幼なかつた時に、蹶形蟲やダンゴ蟲に熱中した楽しい記憶をたぎりながら、楽しい夢を見る幼児に接せられる人々の前に、海を語るこゝ以上の如くであります、何かの御役に立てば幸であります。

樺太へ行きませんか

東京女高師内 兒童教育研究会  
 樺太廳學務課内 樺太教育會  
 樺太夏季大學  
 樺太夏原中學校内(豊原町)  
 昭和九年自八月五日 四日間  
 至八月八日

講習要項  
 一 作業主義理科教育の眞髓……………畑 七 次郎  
 二 作業主義の算術教育……………山 黄 俊  
 三 作業主義の國語教育……………淺 英 次  
 四 景觀地理と作業地理教育……………齋 藤 英 夫  
 一 樺太の概観 二 樺太の教育 三 樺太の産業

課外講演  
 島内見學 甲班(樺太東部廻り) 王子製紙會社工場、樺太廳中央試驗場視察。八月十日、知取町を經て海豹島に向ふ。八月十一日、海豹島に棲むオットセイ、ロッセイ、島の棲息狀態視察。八月十二日、敷香町に於て網場、土人生活、木材流送狀況。ツンドラ地帯視察。八月十三日、解散。(以上見學費約二十五圓)

乙班(樺太西部廻り) 八月九日、眞岡町パルプ工場、樂碧水産試驗場視察。八月十日、多蘭泊アイヌ土人部落、本斗町視察。(以上見學費約六圓)

聽講料 金貳圓(但し樺太島内居住者は聽講料を要せず)  
 典 汽車汽船賃五割引  
 (通期) 七月二十三日より八月八日まで 旅館特約會期中、島内生徒兒童成績品並に本島高山植物陳列自由觀覽

申込方法  
 一 申込期限は昭和九年七月二十日  
 二 申込所：東京女子高等師範學校内兒童教育研究会  
 三 聴講料は必ず振替口座(東京五九七〇)四番・東京女子高等師範學校附屬小學校内兒童教育研究会を御利用下さい。  
 四 申込の際振替用紙通信文記載欄に必ず左の事項を御記入下さい。

(1) 學校名、氏名 (2) 講習名 (3) 往復に限るの要不要  
 (4) 島内見學(東部廻り)の希望區別。  
 五 會費預收書に代へて、聽講券、汽車汽船引證を、振替による申込受付と同時に發送いたします。但し口頭による直接申込は直ちに聽講料引換の上差上げます。